

10月25日より

ねんりんピック鹿児島2008

平成20年10月25日(土)～28日(火)

第21回全国健康福祉祭かごしま大会

高齢層の活力発揮と交流の大会

盛会裡に閉幕——「本物。鹿児島県」を発信——

結団式

高齢者が主役のスポーツと文化の祭典「第21回全国健康福祉祭（ねんりんピック）かごしま大会」が10月25日から28日まで4日間、県内10市3町で「かごしまで 元気・ふれ合い・ゆめ噴火」をテーマに盛大に開催されました。本県からは、諏訪弘美県社会福祉協議会常務理事を団長に、スポーツ交流・ふれあいスポーツ交流・文化交流の大会に25種目81チーム617名が参加しました。選手団は、補助競技場で結団式を行い、ソフトバレーボールの池田利博選手が「練習の成果を発揮し、精一杯プレーします。」と決意を述べました。



選手団代表決意表明

総合開会式

25日の県立鴨池陸上競技場で行われた開会式は、秋空の下、ハッラツとした参加者の入場行進が行われ、県外からの参加者を歓迎すべく、「かごしまで 元気・ふれ合い・ゆめ噴火」のテーマでアトラクションや高校生・幼稚園児等によるステージムなどが盛大に華々しく繰り広げられました。



熱烈な声援を送るさくらじまんキッズ

関連イベント

関連イベントでは、ふれあいニュースポーツ、健康フェア、相談コーナー、地域文化伝承館健康福祉機器展、ファッションショー、「日本型」食再発見」をテーマにしたシンポジウム（パネラーは、安藤和津・小泉武夫・佐藤達夫・本多京子の各氏、コーディネーターは宮川泰夫氏）等多彩な催しが行われ、何れも活気に充ち、選手の外、一般の来場者の姿も多く見られました。



シンポジウム（コーディネーターと4名のパネラーの方がた）

美術展

美術展では、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門に全国から566点の出品がありました。（日本画101点・洋画100点・彫刻73点・工芸94点・書97点・写真101点）本県からは24点が出品され、その中から5名の方が入賞されました。

●彫刻の部

銀賞 「ワシミズク」 宮元 順一

●工芸の部

銀賞 「奄美夢想」 豊 蘭輝
銅賞 「デイ・タイム」 赤塚 昭夫
「遊風Ⅱ」 能勢 紀子

●書の部

最高齢者賞 「愁雲を断つ」 井之上 勇



ワシミズク